



# 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番  
(公) 043(222)7207番

96.8.29 No.4456

## 労働条件改善に向けた要求 について団交(その3)

八月二二日、二七日、「労働条件改善要求に関する団交」が開催された。

二二日は、木更津支部、二七日は、東日本各區に係わる休養室の改善、車両の改善、線路の改善要求の団交である。

しかし、当局からなされた回答は、組合員からの要求には全く答えないというゼロ回答である。

この間の相次ぐ合理化攻撃のなかで、ぎりぎりの睡眠時間が押しつけられるなかで、休養室での防音設備をはじめとする休養室の整備は深刻な現場からの要求である。

### 休養室の防音設備の改善を！

組 睡眠時間が削られギリギリとなつている状況である。睡眠時間の拡大が行えないならせめて休養室の改善を行うべきである。木更津の休養室の防音工事を行ったと言つても、電留線側だけであり、本線側は行っていない。

当 休養室については、優先順位に基づき、二重サッシ化を行っていく。

組 優先順位といつても旧勝浦運転区休養室などをどう見ているのか。壁も古いし、個室などといつても仕切りが不十分で、頭の部分は隣室とつながっている。こうした状況を見逃しておいて、他の場所を優先するというのか。勝浦についてはどう思うのか。

当 予算の都合もあり、出来ない。

組 予算の都合を持ち出せば、なんでも出来ないで済まされてしまう。現場で要求もしていないワンフロア化は各區で実施し、肝腎の乗務員の休養室を直そうとしない。習志野運輸区では、分割・民営化後二・三回も詰所を直すなど、あまりにも無駄なところに経費を使っている。そういうところにも予算を使うなら、切実な要求である休養室の整備に使うべきである。

当 言われていることは、解るが予算との関係もあるので優先順位を付けて実施していきたい。

組 優先順位はどう考えているのか。

当 勝浦車掌区・津田沼車掌区である。

組 運転士の方は考えていないのか。

当 今資料がないのでなんとも言えない。

組 きちつと答えるべきである。

### 訓練時間を勤務実態に合わせ設定せよ！

組 訓練開始時間について、一律に一〇時一五分と決めず、九時三〇分に勤務終了者が多ければ九時四五分から訓練を開始するようなことで、弾力的に訓練を開始するべきだ。三月ダイヤ改をめぐる交渉の際に

は、訓練開始時間を自区で決めていいと回答したが、この点について京葉運輸区の当局は頑なに拒んでいる。

当 一律に九時四五分に訓練を開始したほうがいいのならそうした運用も出来る。しかし、特定の日九時四五分からがいいというような運用はしない。

組 京葉運輸区では、この間の勝浦運輸区廃止も絡み、通勤時間が長い人が増えている。ダイヤ改で明の時間が変わったとかで変わる場合がある。組 運転士の交番は事前に解っている。弾力的に運用すべきである。

### 食事・睡眠時間確保のために、要員を配置せよ

この間、幕電木更津支区においては、相次ぐ要員削減によつて、ぎりぎりの乗務行路となつている。久留里線は、大幅なダ

イヤ変更はないまま推移している。労働条件は改善されるばかりである。

食事時間の拡大、睡眠時間の拡大、さらには長時間持ちきり・ロングラン解消のためには、要員不足を解消しなければ抜本的な改善にはならない。

しかし、当局は、「会社としては、効率化を求めなければならず、要員を増やすまでにはいかない。」と開き直っている状況にある。

また、仕業そのものがきつくなっている状況のなかで、乗務途中の休養を最大限確保する目的で上総亀山乗務員詰所の拡大・車掌との分離という設備関係の最大要求に対して、当局は、「改築となると固定資産税に係する。」として受け入れないという状況である。

業務もきつい、それなら詰所を不十分ながら休養が出来るものとして欲しいという現場からの切実な要求について全くのゼロ回答という状況である。

②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

9/1(日)つぶせ!破防法大懇  
12:30~19時 東京・杉並公会堂  
<指定列車> 千葉駅 ⑩番線 11:16  
最後尾車両乗車

9/6(金)90.3スト 損賠 請求公判  
10:30~千葉地裁  
<集合> 10:15~地裁1Fロビー

9/13(金)9.14反弾圧闘争  
18:30~東京・六本木 松町公園  
<指定列車> 千葉駅 ⑨番線 16:44  
最後尾車両乗車